

令和4年度 津久見市学力向上アクションプランに係る特別公開授業

授業者	大分教育事務所長 山香 昭	教科	中学校 道徳
日時	10月5日 (火)	場所	第二中学校

本時の私たちのねらい
 授業で子どもと向き合うことについて、山香所長と子どもの関わり方を参観することを通して、指導の在り方を考える。

【こうなっていほしい姿を共有する】

前に話した人たちとは違うね。少しでも違う考えを伝えるために言葉を繋げて話したね。すごいね。



授業を通して



今、あなたは前を見て横を見て話しかけて、一人を作らない実践をしたよね。ありがとう。



より積極的に自信を持って友達に声をかける、自分から話の輪に入ろうとする生徒が増えていく。



考えの違いを身振り手振りで話している。そこには、伝えたい気持ちを強く感じる。

いいクラスだね!



発表時に言い詰まる生徒→待っている周りに対して「待てる君たちはすごいね、優しいね。」
 →その子が言おうとしている言葉を予想した周りに対して「今の助ける言葉はいいね。みんながいい空気を作っているよね。」

「AとBどちらが悪いのかな。」
 所長の一言で考え込む生徒。こんな姿を日々の授業でも見たいです。



担任の先生まで誉められて、嬉しそうに拍手で感謝を伝える生徒。この気持ちをしっかり受け取りたいです。

授業終了後も振り返りを書く生徒。



学習のねらいとは別に所長は伝えたいことを持っています。「いいクラスだね」と言うために、子どもの姿を見逃しません。どんな姿がいいのか子どもの姿で伝えます。